

59 森林・林業技術開発推進事業

【181（289）百万円】

対策のポイント

先進的な林業機械、作業システム等の開発・導入促進を図ります。

<背景／課題>

- ・食と農林漁業の再生推進本部で決定された「我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画」において、多様な森林整備の推進と持続可能な森林経営の確立を図り、木材自給率50%目標の達成を目指すこととされたところです。
- ・このためには、森林施業の低コスト化が不可欠であり、先進的な機能を有し我が国の作業条件に適した林業機械の開発や現地に適した作業システムの導入が必要です。

政策目標

素材生産量に占める高性能林業機械を使用した生産量の割合を平成27年度に6割に拡大（4割(平成21年度)→6割(平成27年度)）

<主な内容>

1. 先進的な機能を有し我が国の作業条件に適した林業機械の開発

従来我が国で普及している機械とは異なる先進的なコンセプトを有しつつ、我が国の条件に合致した林業機械の開発を行います。

先進林業機械開発促進事業 45（0）百万円
補助率：1／2
事業実施主体：民間団体

2. 先進林業機械の導入促進及び現地に適した作業システムの導入支援

先進林業機械のさらなる改良、導入した作業システムを検証・分析・評価するとともに、生産性の高い作業システムの導入を支援します。

先進林業機械改良・新作業システム開発事業 39（69）百万円
補助率：定額
事業実施主体：民間団体

3. 育林機械・技術の開発及び開発された育林体系の分析・評価

育林工程の短縮・省力化につながる育林機械等を開発・改良するとともに、開発された育林体系・機械の現地適用について分析・評価等を行います。

育林省力化技術開発促進事業 12（24）百万円
補助率：定額
事業実施主体：民間団体

4. 未利用森林資源の利用技術の開発

林業機械等により収集・運搬した木質バイオマスを大量かつ安定的に利用するための技術の開発を行います。

森林整備効率化支援機械開発事業 85（196）百万円
委託先：民間団体

[お問い合わせ先：林野庁研究・保全課（03-3501-5025（直））]

森林・林業技術開発推進事業

先進的な林業機械の開発(新規)

- 従来我が国で普及している機械とは異なる先進的なコンセプトを有し、我が国の作業条件等に合致した林業機械の開発を行います。



先進的な林業機械の開発

先進林業機械による飛躍的な作業効率の向上

- 先進林業機械のさらなる改良、導入した作業システムを検証・分析・評価するとともに、生産性の高い作業システムの導入を支援します。



先進林業機械を導入した作業システムの評価

育林工程のコスト削減

- 育林工程の省力化のための育林機械や技術を開発し、これらを現場に導入して適用性の分析・評価を行います。



育林機械・技術の開発と分析・評価

未利用森林資源の利用技術の開発

- 林業機械等により収集・運搬した木質バイオマスを大量かつ安定的に利用するための技術の開発を行います。



収集・運搬



木質バイオエタノール製造